

○本時に育成したい資質・能力

○二つの側面、三つのプロセスとの関係

緊急時への備えや対応、安全を守るための取組に着目して関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、説明することができる。【思考力・判断力・表現力（ア）】

二つの側面  
 A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力  
 B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力  
 三つのプロセス  
 ①…発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す  
 ②…分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する  
 ③…再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する

付箋に書き出したひみつ（情報）をホワイトボードを活用しながらグループで交流する学習を通じて、警察官とスクールガードと市役所の取組は同じことや異なることがあるが、3者とも安全なくらしを守るという願いをもっておられることに気が付き、学習問題に対する自分の考えをもっている。（A②B②）

○本時のめあて

警察官とスクールガードと市役所の方への聞き取り調査で分かったことを伝え合うことを通して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きや願いを考慮することができる。

○本時の展開（めあて、学習課題、学習活動、児童生徒の反応予測・思考の流れ、板書計画等）

①前時を思い出し、本時のめあてと学習問題を確認する（5分）      ③分かったことを伝え合う（20分）      ④3者の取組や願いの共通点や相違点について考え、学習問題に対する自分の考えをもつ（10分）

- ・聞き取り調査の写真や動画を見て振り返る。
- ・聞き取り調査で話された内容の要約を掲示し、児童が確かめられるようにする。
- ・警察官とスクールガードと市役所の方の取組や願いなど分かったことを交流し、ホワイトボードにまとめる。
- ・地域の方がスクールガードをしてくださっていて、地域の子どもの安全に登下校できるように、いつも危険な場所に立ってくださっています。また、市役所の方は、市のみんが交通安全に気をつけるように、パンフレットを作って配っています。さらに、警察官は交通安全の仕事をたくさんしていて、事故が起こったあと、事故の原因を調べたり、消防署と協力して事故をしてしまった人を助けたりしています。3人とも「安全なくらしを守りたい」という願いは同じです。

**（めあて）**聞き取り調査をして分かったひみつを伝え合い、安全なくらしを守るひみつをせつ明しよう。

**（学習問題）**安全なくらしを守るために、警察署とスクールガードと市役所の方は、どんな願いをもって、何をしているのだろう。

Aさん  
Bさん  
Cさん  
Dさん

『ひみつにせまろう会議4』

スクールガードのおじさんは、子どもたちが安全に登下校できるようにと願って、毎朝通学路の危険なところに立って、見守っているそうだよ。

そういえば、ぼくの通学路の横断歩道のところにいつも立っていてくれるよ。

市役所の方は、毎朝ではないけれど、時々車でパトロールをしているんだって。

警察官の交通安全の仕事はたくさんあるけれど、どれも地域のみんさんの安全なくらしを守るためにしているって話していたよ。

「安全なくらしを守りたい」「子どもたちの安全を守りたい」これらの付箋は、ホワイトボードの「願い」のところに動かそう。

⑤学習のまとめをする（5分）

学習問題に対する自分の考えを紹介しましょう。

・全体交流で出た考えで、自分の考えを確かなものにする。

※矢印は学習の流れを示す